平成27年度 事務事業評価シート

		事務事業名		地域密着型サービス			ビス	施設整備補助事業			担当部	健康	福祉部			
		会計区分		一般会計				事業	類型	型 実施計画事業		事業	担当課	介護	保険課	
		事業期間		平成22年度		Ę	~ =		平	成31年度以降		降	担当係	保険	保険資格係	
		総合計画 ^{主目}		2	保健∙福祉		11	保険・	福祉區	医療	2	健全な	な介護保険	制度を	運営しま	きす
		分野別計画	副目的											実施計	画対象	0
		予算区:	分	款	3	項		2	目	4		大	3	中	6	
		根拠法令・個別計画			地域介護·福祉空間整備等施設整備交付金、愛知県介護基盤緊急整備等特例基金事業 費補助金交付要綱、小牧市高齢者保健福祉計画											
尋	目的 (対象をどの様な状態にするのか)				を必要とす との整備を注			主みな	れた地	域で生	活が	続けら	れるよう、コ	也域密茅	着型サ−	-ビ
牚	/Infr															
Ø.		内容 (手段)		地域	域介護・福 密着型サー 特に必要と	-ビス等	の導.	入や先	進的	事業支持				進的事	業の実績	施の
相	Ŧ			-	F度は 密着型介護	養老人福	富祉施	設1簡i	所(小:	收 白寿	苑)					
要				·認知:	症対応型共 症対応型通	表同生活 医所介部	5介護 雙1箇月	1箇所 听(小物	(小牧) 女白寿	白寿苑) 苑))	11)				
				に対し	模多機能型が	した。					ひまれ	つり)				
					度直接経											
				27年度は、認知症対応型共同生活介護1箇所、小規模多機能型居宅介護1箇所、認知 症対応型通所介護1箇所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1箇所の補助を予定してい												
				る。 (27年度直接経費の内訳)補助金 78,170千円												
				ν_,		J 1 .	гы/ 3 / III.	-/1	. 5, . 7	- 1 1 3						
		受益者負	担	無	ŧ											

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
		直接	経費	千円	60,000	176,000	219,990	78,170
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
	費 用	スの仏職号	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
ス	,,,	その他職員	人件費	千円	0	0	0	0
		費用	合計	千円	60,526	176,526	220,516	78,696
		対前	年比	%		291.6	124.9	35.6
		一般財源		千円	526	526	526	526
	財源	国•県支出金		千円	60,000	176,000	219,990	78,170
			千円	0	0	0	0	

事業番号	119

	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	補助対象施設整備箇	箇所	目標	4	3	6	4
	所数		実績	2	3	5	
alla			目標				
業			実績				
			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	補助実施法人数	社	目標	_	_	-	_
	州功夫池丛八数		実績	2	3	3	
			目標				
			実績				

	平 成 2	事業の 達成状況	6施設の整備を目標としていたが、公募の結果、地域密着型介護老人福祉施設1箇所、小規模多機能型居宅介護2箇所、認知症対応型共同生活介護1箇所、認知症対応型通所介護1箇所の応募があり、選定のうえ事業予定者として決定した法人3事業者に対し補助を実施した。
	26年度の実施	事業実施におけ る課題	施設整備に欠かせない用地の確保が困難になってきていることや、年度内に事業が 完了する(施設を整備する)必要があることから、事業者にとっては、時間的な余裕が ないことなどが整備を進める上で課題となっている。
事業の		事業を縮小・ 廃止したときの 影響	事業者による施設整備が滞り、高齢者保健福祉計画で目標としている介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるような高齢者を支える地域密着型介護 サービスの提供ができなくなる。
の自己評価	マ成27年度の	直し内容(新規追	平成27年3月に策定した第6次小牧市高齢者保健福祉計画の整備計画の周知を図り、事業者の整備の時間的な余裕を考慮し、事業者に土地開発公社の保有する用地の情報等を提供し、施設整備の推進を図る。
	平成	方向性の判定	維持 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの (対象や手段を見直す場合も含む)
	28年度の事	判定理由	27年3月に策定した第6次小牧市高齢者保健福祉計画に基づき、実情に応じて必要な施設の整備を図ることができるよう事業を維持していく必要がある。
	争業の方向性	28年度以降 の改善案	平成27年3月に策定した第6次小牧市高齢者保健福祉計画の整備計画の周知を図り、募集時期を早めるなどして事業者の整備の時間的な余裕を考慮し、事業者に土 地開発公社の保有する用地の情報等を提供し、施設整備の推進を図る。

١.	_	方向性の判定	判 定 理 由
ざ言信	欠平面	維持	一次評価のとおり。